

令和2年度 水素情報館東京スイソミル出前授業 実施報告

持続可能な低炭素都市の実現に向け、将来を担う小学生に対し、水素情報館東京スイソミルのコンテンツを活用して「水素エネルギー」への理解を深めるとともに、持続可能な社会づくりのために行動できる人材育成を目的として出前授業を実施しました。

【実施先】

令和3年3月18日（木）武蔵野市立千川小学校 5年1組・2組

※今回は新型コロナウイルス感染防止のため、出張スタッフを最少人数とし、座学は東京スイソミルからのオンライン生配信、デモンストレーションは千川小学校エントランスにて実施しました。

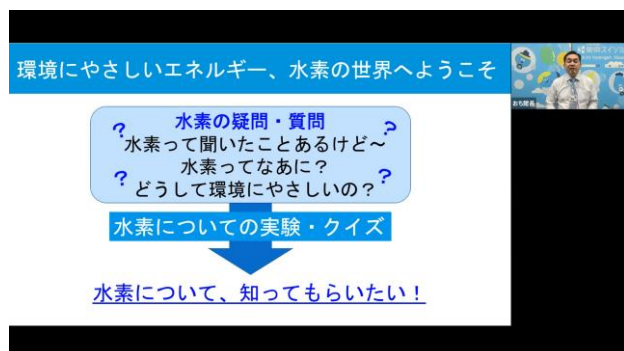
【実施内容】

【授業の目標】環境にやさしい水素エネルギーとその活用について知る

授業では、目に見えない水素について、燃料電池実験デモや燃料電池自動車（FCV）体験を交えながら、水素社会の将来像、安全性等についてクイズ形式で説明しました。

1.（導入）地球温暖化について

本日の目標



地球温暖化の原因について



2.（展開）水素や水素エネルギーとは

越智館長による燃料電池の実験



クイズに答える児童のみなさん

水素クイズに挑戦

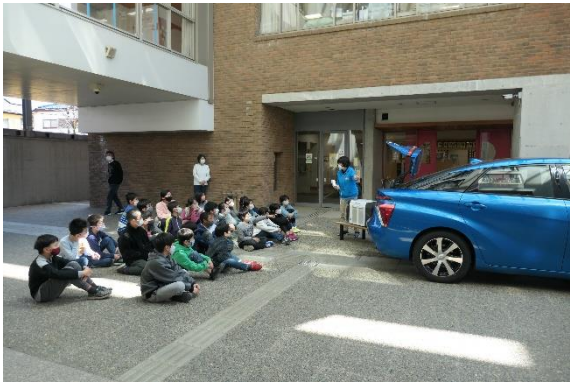


クイズの解説



3. (展開) 燃料電池自動車と外部給電器の見学
外部給電器に関するクイズに挑戦

燃料電池自動車をじっくり見学



4. (まとめ) 水素エネルギーとは何か？
紙芝居を使って授業のまとめを実施

最後の、質問タイム

